

令和 7 年度入学試験問題

情報学部

一般選抜 後期日程

小 論 文

(注意事項)

1. この問題冊子は試験開始の合図があるまで開いてはならない。
2. 問題は全部で 2 ページある。落丁・乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は申し出ること。
3. 別に解答用紙が 2 枚および下書き用紙が 2 枚ある。
4. 解答はすべて解答用紙の指定された箇所に横書きで記入すること。
5. 受験番号は解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 解答時間は 90 分である。
7. 問題冊子および下書き用紙は持ち帰ること。

問題 1 次の文章は『日本経済新聞』（2024 年 7 月 13 日付、朝刊）からの引用（一部抜粋・一部改変）である。この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

ソフトバンク G、英半導体スタートアップを買収 AI 戦略を推進

ソフトバンクグループ（SBG）は英半導体スタートアップのグラフィコアを完全子会社化した。同社は人工知能（AI）の演算処理を高速化できる半導体チップを開発している。SBG は以前に買収済みの英半導体設計子会社を中核に AI 分野の実業を主軸とする方針を示しており、今回の買収はその戦略推進の一環だ。

グラフィコア側が英国時間の 11 日、SBG への傘下入りを発表した。英ブリストルに本社を置くグラフィコアは 2016 年設立の新興企業だ。

SBG は医療データを AI で解析するサービスの立ち上げを発表するなど AI を生かした新規事業を増やす構えで、グラフィコアの技術力も活用するとみられる。英国の半導体関連企業の買収は 2 社目となる。

SBG とグラフィコアは買収額を明らかにしていないが、英フィナンシャル・タイムズ（FT）は関係者の話として、買収額が 6 億ドル（約 950 億円）強だと報じている。完全子会社化後もグラフィコアの名称で引き続き事業を展開する方針だ。

グラフィコアのナイジェル・トゥーン共同創業者兼最高経営責任者（CEO）は 11 日の声明で、SBG について「グラフィコアが AI 技術の展望を再定義することを可能にするパートナーだ」と述べ、傘下入りの意義を強調した。「AI の潜在能力を最大限に引き出すには、効率性、回復力、計算能力を向上させるためにやるべきことがたくさんある」とも説明した。

設 問

問 1 この文章では、SBG が英半導体スタートアップのグラフィコア社を完全子会社化したことについて述べている。SBG がグラフィコア社を完全子会社化した狙いについて、記事を参考にして 140 字以内で説明しなさい。

問 2 この文章では、AI を生かした新規事業を増強するために、半導体チップの技術を活用することが述べられている。半導体チップに関わる技術が、AI に対してどのように寄与するのか考え、200 字以内で説明しなさい。なお回答は、医療データを AI で解析するサービスに関わるものであっても、他のサービスを想定したものであってもよい。

問題 2 次の文章は『読売新聞（2024 年 7 月 12 日 朝刊）』からの引用（一部抜粋）である。
この文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

「人間以上の話し相手」

「いま落ち込んでいるんだ」「そうだよ。つらいこともあるよね」

千葉県内に住むフリーターの男性（27）は今、音声対話型の生成 AI（人工知能）を「身近な話し相手」として使っている。東京都内の IT 企業「Starley（スターレー）」が 2 月に提供を始めたアプリ「Cotomo（コトモ）」だ。

雑談から悩みの相談まで、時に相づちを打ったり、励ましたり。滑らかな応答は、人間と会話しているかのように注目を集めている。（中略）

コトモを使って 4 か月。男性はこう話す。「人間との関わりが減っても、AI が孤独をかき消してくれる」

スターレーによると、コトモの返答回数はアプリの提供から 3 か月で 1 億回を超え、多くの人に利用されている。

同社代表取締役の丸橋得真さん（32）は「人間同士のコミュニケーションはかけがえのないもので、AI では代替できない」と強調する。その上で「AI の特性はいつでも『対話』できること。新たなコミュニケーションの形を提供したい」と語る。

ただ、AI との会話が孤立を深めるとの研究もある。

米国心理学会は昨年、米国や台湾など 4 か国・地域の企業を対象に行った調査で、AI と頻繁にやりとりする従業員は、社会的なつながりを感じられなくなって孤独感を抱く可能性が高まり、不眠症や飲酒量の増加につながるという結果を発表した。

「人間は社会的動物で、AI システムによる孤立は従業員の私生活に有害な波及効果を及ぼす可能性がある」とし、雇用主に、AI を使った仕事の頻度を制限し人との触れ合いの機会を作ることをも勧めた。

ベルギーでは昨年、生成 AI とやりとりを続けた男性が自ら命を絶ったと報道された。アプリで架空の女性とやりとりするうちに没頭。「私たちは一つになり、天国で生きる」などのメッセージが送られていた。

生成 AI の制御は大きな課題だ。コトモを開発したスターレーでも、自傷行為や犯罪に誘導する言葉を生成しないよう、コトモのシステムに「禁止ワード」を取り入れるなどの対策をとっている。「完全な制御はどこの企業でも難しいが、最大限の努力をしている」（丸橋氏）という。

（以下、省略）

設 問

この文章にあるように、生成 AI とのコミュニケーションが推奨される場面と、制限や制御が必要になる場面とを踏まえて、今後、生成 AI を用いた新たなコミュニケーションの形や、生成 AI とのコミュニケーションにおける期待について、あなたの考えを 300 字以内で述べなさい。